

ふれあいのネットワーク



ななせ

南郷学区社会福祉協議会だより

NO.89 平成25年7月17日発行 南郷学区社会福祉協議会広報部
『つながっていく明日へ、笑顔が見える町づくりへ』を合言葉に



みなさま、こんにちは。

アベノミクスの高揚感につつまれて、南郷のまちも、新年度がスタートしました。明るく暮らしたいな。元気に暮らしたいな。だれもが願う人の営みです。そんななか、南郷のまちは大きな節目を迎えます。

ひとつは学区が発足して30年、もうひとつは民生委員の一斉改選の年です。前者は“まちと人のコトコトがたまった歴史”であり、後者は“まちのイマをつくる力”、どちらも大切にしたい“まちの財産”です。一口に30年—といっても、いろいろなコトが歳月のなかで駆けていきます。たくさん先輩たちが、その年ごとに英知を絞り、私たちが暮らしている“イマ”をつくってこられました。学校ができた市民センターができた公園ができた医院やスーパーができ、まつりや運動会といったふ

れあいが広がり、そして、それらを愛するヒトがいました。

30年 人の営みは違っても、30年という来し方がある

来し方 日あるとき懐かしく思い、そしてなんらかの励

みる方々 みにする時間をどなたでもお持ちでしょう。

見すえるとき、 いわばいつもヒトがいて、その人なりのまちの温

もりがあるといってもいいかもしれません。

もう一つ、私たちのまちは、いまや3人に1人は高齢者というまちなりつつあります(高齢化率27・7%)。そういう人たちを縁の下に力持ちとしてささえているのが民生委員・主任児童委員の方々です。とかく健康や人間関係に不安が始め、そんなとき気もちを励ましたり安否をたずねたり…と、その役割は高齢化時代に欠かせません。

私たち社協は、今年、この節目を活動の柱にして30年というまちづくりへのささやかな恩返しと感謝、そして次代へのつながりをキーワードに据え、平成25年をみなさまと一緒したい、と思っています。

南郷学区社会福祉協議会会長 橋本 紀宣

平成25年度活動予定表



- 毎月1回 定例役員会議(原則:第一金曜日)
- 年4回 地域づくり会議(自治連、民児協、社協、老く連、南すこやか相談所共同開催)
- 年4回 南部ブロック社協会長、事務局長会議
- 毎月1回 市社協主催の学区社協会長会議

◆ 4 月

- 13日:H24年度会計監査
- 21日:ふれあい給食サービス活動(以後、8月を除いた毎月第3日曜日に実施)

◆ 5 月

- 15日:南郷小「子ども防犯教室」(子ども安全リーダー主催)
- 19日:南郷学区5団体総会
- 25日:学区各団体懇談会

◆ 6 月

- 4日:H25年度福祉委員長会議(以後適宜、福祉部会議として開催)
- 5日:民生委員児童委員改選/学区内申委員会
- 29日:福祉関係者合同会議「福祉のまちづくり研修会」

◆ 7 月

- 7日:びわ湖市民清掃
- 17日:広報誌「ななせ」89号発行(以後、12月3月の計3回発行/年間)
- 中・下旬:福祉バザー対心「集荷、荷付け、会場設営準備
- 27日:「来い、鯉南郷夏まつり」「ふれあい福祉バザー」開催

◆ 8 月

- 下旬:市社協/無縁仏法要

◆ 9 月

- 13日:敬老の日記念のつどい
- 16日(初):敬老の日各自治会
- 28日:南部ブロック社協「地域福祉講座」

◆ 10 月

- 1日:「赤い羽根」学区内街頭共同募金活動
- 13日:「元気なんGO!」スポーツフェスティバル「ふれあい健康相談」
- 19日:学区内福祉施設草刈り清掃ボランティア活動
- 20日:南郷学区防災訓練
- 下旬:南小「びわ湖の環境とよし/よし」笛体験教室

◆ 11 月

- 2日:南小PTA「秋のつどい」老く連、民児協共同参加
- 3日:学区文化祭「ふれあい福祉バザー」
- 8日市:市社協主催「大津市社会福祉大会」
- 中旬:人権協との合同研修会
- 27日:南部ブロック社協「福祉委員視察研修会」
- 28日:歳末たすけあい運動学区内配分委員会

◆ 12 月

- 1日:民生委員児童委員認定式市社協
- 4日:学区社協理事会

◆ 1 月(H26年)

- 11日:学区新春年賀会
- 下旬:南小4年生対象課外授業「福祉体験授業」(市社協)

◆ 2 月

- 1日:一般向け「介護のつどい」
- 23日:介護者のつどい

◆ 3 月

- 2日:石山/南郷2学区遺族会&社協2学区合同、石山志願者前清掃&慰霊法要



ふれあい ささえあい
助けあいをアイ言葉に
ヒトを
思いやるまちづくり

◆写真は平成24年度の活動です



地域福祉は、支えあい・声のかけあいから

南郷学区社会福祉協議会 副会長
千町 自治会 会長 堀井 博

夜空にかかる美しい天の川を仰いで、よくない夢に思いをはせる今日この頃です。皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。さて私こと、このたび南郷学区社会福祉協議会の副会長に新たに就任することになりました千町の堀井博でございます。微力ではございますが、南郷学区の地域福祉に、会長のもと最善の努力をつくしてまいりますので、今後ともご支援ご協力をお願い申し上げます。そう言っても、直接かかわったことのない社会福祉協議会ってどんな会？から始まる私です。活動に関しては素人同然ですので、これから諸先輩方々の活動に参加させていただき、早く慣れることから始めたいと思います。今や、みなさまも「存じだと思えますが、南郷学区も高齢化が深刻問題になってきて、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の割合も30%弱をも占めています。おのずと地域での支えあい・声の掛け合いが重

要となつていられる中、今後とも地域福祉の向上のために、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。社会福祉をとりまく環境が一層厳しさを増す中、地域住民との連携協働を基礎として、お互いに支えあう地域福祉活動の一層の推進が必要と考えております。今年度の事業・介護に対しての知識向上のための研修会・昨年から始まった「いのちのバトン」の重要性・子供たちの登下校の声かけアイサツ運動によるコミュニケーション効果の重大さ、また各自治会でのふれあいサロンの活動等への参加を積極的に進めていき、見守りたいと考えています。また絶えず発生してきます各種問題にも応えられるよう、会長とともに諸活動していく所存でございますので、より一層のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

平成25年度定期総会が開催されました

5月19日、南郷市民センターで開催されました。承認されました議題の中から、24年度会計決算報告・25年度会計予算の要約・25年度役員と福祉委員を報告します。(社協会計 堀井佐登司)

南郷学区社会福祉協議会[決算及び予算]

収入の部

(単位:千円)

	25年度予算	24年度決算	主な内容(決算)
前年度繰越金	936	1,893	
事業協力金	734	723	自治連(300) 歳末助け合い(423)
市社協補助金	888	894	育成・強化費(228)活動助成金(295) 独居老人給食補助(370)
県共同募金会	0	192	H24年度研修備品整備事業助成金
市補助金	100	100	敬老補助金
事業収入	100	132	福祉バザー売上
寄付金	0	400	災害見舞金(360)新生活運動(30)一般寄付(10)
雑収入	2	2	預金利息他
繰入金	350	600	基金(善意銀行)より
収入計	3,110	4,935	

支出の部

☆平成24年度末積立基金残高 9,450千円

会議費&事務費	120	120	コピー料他
事業費	2,000	1,911	・活動費(121):バザー/介護者の集い/交通費他 ・調査啓発費(130):ななせ発行費他 ・研修費(74):福祉委員研修費他 ・子ども福祉費(76)・高齢者福祉費(823):給食/敬老助成金 ・歳末助け合い(423):在宅療養者/福祉施設入居者等 ・助成金(265):老ク連/学区民/民児協/子指連/ 子育て教室/遺族会/健推/地女の会
負担金	359	362	市社協会費他
寄付金	0	970	災害見舞金
諸費	60	60	各種団体交際費他
備品購入費	60	526	音響アンプ、プロジェクター他
積立金	0	50	
支出計	2,599	3,999	
次年度繰越	511	936	
合計	3,110	4,935	

◇役員

平成25年度役員・福祉委員

新しい社協の顔ぶれがそろいました

【赤尾町】8名

○山口 武則 中野 美智子

赤尾 幸蔵 辻 明

山根 恒夫 竹内 ひろ子

谷川 秀樹 高見 勇

○晴嵐台【10名

○天谷 邁 小林 佳恵

園 嘉代子 木下喜恵子

田中 美春 小野 松子

市原 令子 三浦 隆

白石 康子 中島 文子

【南郷町】4名

○墨岡 説子 大栢 美岐

上田 知史 阪井 康子

【ベルテ】2名

○田中 一男 洞 満澄

【リオ】3名

○村瀬 朝子 松崎 成子

板野 春美

【岡の平】2名

○福田 孝一郎 落合 真智子

【石山外畑町】1名

○藤原 俊治

【石山内畑町】1名

○村田 博

(福祉委員計53名・順不同・敬称略)



○藤井 悠紀子 小澤 慶男
東規矩男

【南郷グリーンハイツ】3名

山本 緑 前田 宏靖

足立 育三 堀井 健太

水田 学諭 南 忠郎

○下村 寿々代 松田 洋二

堀池 正春 服部 芳尚

柳川 勇 服部 貴之

服部 智章 小野 武司

横田 温 澤 和也

堀井 敏彦 浅井 宏

○堀井 善之 香川 達彦

顧問 金田喜八郎 千町

監事 松田 准一 赤尾町

監事 上田 利明 南郷町

事務局 田島ひとみ 南郷町

会 計 堀井佐登司 千町

広 報 山根 啓史 赤尾町

福 祉 部長 上原 博一 赤尾町

副 会 長 堀井新兵衛 千町

副 会 長 青山 君子 南郷町

副 会 長 堀井 博 千町

副 会 長 吉川 功 千町

会 長 橋本 紀宣 第二G

◇福祉委員(○印:委員長)

【千町】13名

ふれあい伝言板

ひと



平成25年度

福祉関係者合同研修会

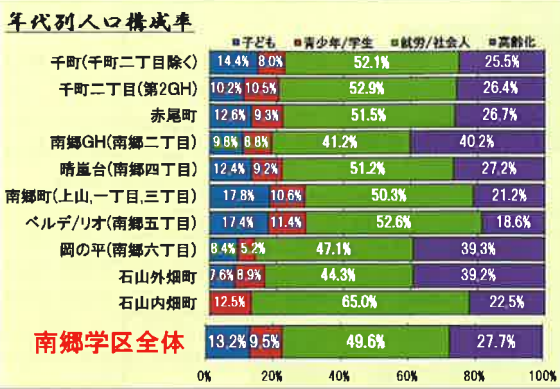
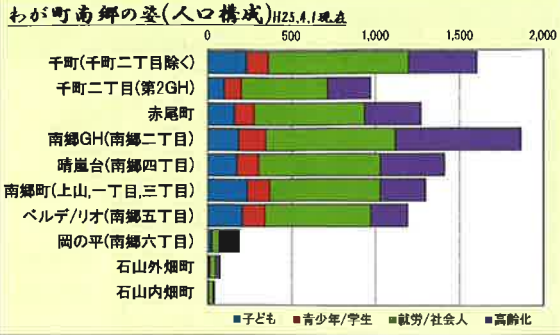
新しい年度が動き出して最初の研修会。ことし福祉関係の役にたかれた方々や、いろいろ地域の役を何回もこなしてこられた方々に集まっていただきました。

第一部は“ボランティアとは”“地域福祉活動とは”“住民流福祉のススメ”“今の地域で暮らし続けたいと思う条件”：の映像とお話。第二部は市社協が取りくんでいる“いい福祉のまちづくり”活動の一端で全学区の福祉委員のみなさまに行った地域ニーズアンケートについて当学区の集計結果を聞きつつ“みじかなチヨットいい話”をシートに書いてみんなで話し合いました。



第一部は龍谷大学非常勤講師・特養老人ホーム松の浦湯治の施設長扇田宗親さま、南三陸町の3・11災害を例に“普段の近所付き合い”が災害に強い町づくりになる、福祉の主役は地域住民・困っているコトには話を聞いて一緒に困ることから解決の糸口を探る、住環境が揃っているコトも大切だが“なじみのご近所さん”が“な”が大事。大きく援助II聴いてももらえる・わかつてもらえる・安心感を与える・立ち直りの動機づけになる(。一部・二部を通じて地域福祉活動について理解・再認識していただいたでしょうか。

参加者計 37名



南郷学区人口 9,923人(全) H25.4.1現在
4,766人(男) 5,157人(女)



小さなささえあい 車椅子を更新

高齢化が進むにつれ介護暮らしをよぎなくされる方が増えています。車椅子があつたらしいのになあ。どうしても必需品になつたなど、学区では利用希望に比べると10台ほど用意してはいますが、古いと昔前に準備したもので重たい、扱いにくいなどの声が寄せられていました。

車椅子も時代のニーズにそつて進化、このたび2台ですが小型軽量の最新車椅子に更新しました。介護される方とのチヨットしたお出かけに・小旅行に・長期恒常利用にとご利用ください。

●機材は南郷公民館事務局で保管管理、事務局に相談して利用してください。

この6月16日(日)、南郷町自治会福祉委員Gでふれあいサロンが開催されました。70歳以上の高齢者を対象に、テーマは「笑顔あふれる生きいき人生」。催しもテーマにそつて、NPO法人シア安心クラブ・理事長稲垣恵さんの「知つて得する介護サービス」のお話、南あんしん長寿相談所の主任介護支援専門員・横畑美也子さまのチヨットのびのび体操、そして午後からは濱中「夫妻」湖風音「のよし笛演奏、お楽しみビンゴゲームと、盛りだくさんのおもてなしのひととき。

高齢者の気もちをホツコリさせたい、という主催者側の「ヨロコビ」が随所にいきわたり、「私と家族の安心手帳」には、学区全体に導入したらいいのに、という声から参加者からあがつたほど。思わず昨年に実施した「いのちのバトン」設置活動を思い起こさせてくれました。

※このふれあいサロン活動は、他自治会でも計画や実施進行中です。高齢化少子化が深耕するなかで、ヒトを思いやることは地域づくりの欠かせません。これからの地道な温かい推進をよろしくお願いします。

(社協事務局)

まち



ふれあいのサロンはじまる 南郷町ふれあいサロン



暮らし



当学区社協では福祉活動の充実、強化のための財源確保として、皆様の新生活運動(葬祭仏事その他を簡素化し節約された経費で福祉事業を推進)への協力ならびに善意のご寄付をお願いしております。「つなごつていく明日へ・笑顔が見える町づくりへ」、その町づくりへの皆様のご協力、ご支援よろしく願います。なお2千円を適用下限額として寄付金控除の対象となります。

※ご寄付の窓口
南郷学区社会福祉協議会
☎ 533310292

「ふれあい福祉バザー」
善意の品々お待ちしております
第15回来い鯉・南郷夏祭り
7月27日(土) 15時:00~21:30 南郷公園
ふれあい福祉バザー 15時:00~17:30
◆出品をお願いしたいものはご家庭内の雑貨品
(石鹸・洗剤・タオル・食器類・賞味期限内の食品)

学区発足30周年の節目の
年、役員一同新たな気持ちで
今年度の始動をかけていま
す。

編集後記